

2023 年度 部局 FD 活動報告

生活科学部・研究科

1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください） ・研究科及び学部それぞれの教務委員会において FD の議題を設け、情報共有を行うとともに、学部及び研究科の FD 活動を推進している。 ・学部の各学科の学科会議において FD の議題を設け、FD 事項をすべての教員にフィードバックしている。		
2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
2024 年 2 月 7 日	研究科教授会において生活科学研究科 FD 研修として、教学アセスメントの実施方針（アセスメント・ポリシー）の策定にともなう学部・研究科カリキュラムポリシーの改定を取り上げた。	55 人
3. 教育改善・教育評価・FD に関する会議、委員会等の開催		
会議・委員会名	内容・開催日 （複数回の場合は「第 1 回（*月*日）～について」 「第 2 回…」と記載）	委員の人数
生活科学研究科 大学院教務・入試委員会	研究科の FD 活動に関して、課題・情報の共有を行った。 毎月第 2 水曜日に開催。	11 人
生活科学部 学部教務委員会	学部の FD 活動に関して、課題・情報の共有を行った。毎月第 2 水曜日に開催。	11 人
各学科 月例 FD 会議	各学科の FD 活動に関して、課題・情報の共有を行った。 毎月第 4 水曜日に開催。	58 人
生活科学部・研究科 教学アセスメント委員会	教学アセスメントの実施等に関して、学部内に教学アセスメント委員会を新設して適宜開催し、実施方針（アセスメント・ポリシー）の策定やアセスメントのリスト及びシート等の作成、策定にともなう学部・研究科カリキュラムポリシー改定などにかかる作業を行った。	5 人
4. 上記以外の教育改善・FD に関する取組（但し、成績 GP 分布関連は次項に）		
・研究科の初年次教育（1 年次前期）について、全 4 コースを横断した必修科目「生活科学論ゼミナール」を 2018 年度に導入し、継続的に実施している。 ・学部の初年次教育（1 年次前期）を 2018 年度に導入し、継続的に実施している（2023 年度科目名：		

食栄養学科「食栄養学概論」、居住環境学科「居住環境学概論」、人間福祉学科「人間福祉学概論」）。

- ・研究科の修士論文について、主査及び副査による複数指導体制のもとで指導を行うとともに、各コースにおいて中間報告会及び最終報告会を実施している。
- ・学部の卒業論文または卒業設計について、主査及び副査による複数指導体制のもとで指導を行うとともに、各学科において報告会を実施している。
- ・成績優秀な学生の表彰を行っている。そのうち、研究科の修了生及び学部の卒業生については、3月の学位記授与式で行っている。

5. 成績 GP 分布、GPC データの分析に関連する事柄（必ずご記入ください）

- ・研究科及び学部それぞれの教務委員会において FD の議題を設け、GPC データを共有し、研究科の各コース及び学部の各学科において成績分布の点検・分析を行うこととし、必要に応じて成績評価の課題等の検討を行うこととした。

6. 年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数〔実数〕（必ずご記入ください）

- ・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 （ 58）人
- ・所属内の専任教員の人数 （ 58）人

7. その他、追記事項

特になし。